

第2学年 道徳学習指導案

日時：2009年9月25日(金)

授業者：佐賀県教育センター
所員 中村 純一

1 主題名 思いやりの心 2-(2) , 友情 2-(3)

2 資料名

書籍：「小さな勇士たち」 『小さな勇士たち』(NHK出版, 2003年)

番組：NHKスペシャル「こども 輝けいのち 第4集『小さな勇士たち』小児病棟ふれあい日記」
(2003.6.8 OA)

3 主題設定の理由

○ ねらいとする価値について

現代社会では人同士が会うことなく、携帯メールなどを用いて、コミュニケーションがとれる時代になってきている。しかし、どんな社会になろうとも、人は一人では生きられない。人と人が接していくことは不可欠である。よって、相手の立場を考え、思いやりをもって人と接していくことは、よりよい人間関係をつくる上で大切である。また、それが友情にもつながっていく。

学校生活においても社会と同様に他人とコミュニケーションをとりながら活動をする場面が多くある。そして、仲間や友人と共同作業に取り組むことも様々な場面において見られる。しかし、中学時代は自我の出現により利己的になりがちであり、その中で相手の立場を理解し、思いやりを持って接していくことをおろそかにしてしまうこともある。よって、相手に対して思いやりの気持ちをもって接することの大切さについて理解し、更に、よりよい人間関係を育むことは友情にもつながることを学ぶことは意義深い。

○ 生徒の実態について

中学2年生になると、学級活動はもとより、生徒会活動や部活動など、まわりの生徒たちと協力する場面も増え、1年生の時以上によりよい人間関係が不可欠になってくる。そのため、他人のかかわりが大切であることや、そこからクラスメイトとの友情も生まれてくることもあることなどが十分理解できるようになる。

学級内のよい雰囲気を利用して、よりよい人間関係をつくり上げようとする態度を学び、実践していくことの大切さを学ぶことは、必要があると思われる。

○ 資料について

本授業では、放送されたテレビ番組を使用する。読み物資料を使わず、視聴覚に訴える資料を用いることで、番組内に登場する子どもたちのリアルな表情、声、語りをリアルに生徒たちに紹介することができると考えている。授業時間の関係上、短時間に編集したものを使用する。補助資料として、同番組が書籍化された本を使用する。

資料は、ある病院の小児病棟に入院している男の子二人の心温まる話である。中学2年生にとって、この資料に出てくる子どもたちとは10歳近くの年齢差があるものの、A君とB君という二人の子どもたちが画面を通して見せる思いやりにあふれた様子や純粋な表情、暖かい友情は生徒たちの心に訴えかけるものがあり、年齢を超えた素晴らしい人間愛を感じることができる。特に、A君という男の子の心温まる言動は生徒たちの心に深い感銘を与え、心を揺さぶるような資料となっている。

○ 指導について

指導にあたっては、小児病棟や小児ガンについて知ることから始め、資料の舞台である小児病棟に対する生徒たちの関心を高めたい。展開においては、視聴覚資料を用いてA君の気持ちを追っていきたい。そして、生徒たちへの発問を通して、一人一人が思いやりの自覚を深め、今後もその気持ちをもち続けていきたいという動機につながる気持ちを引き出したい。また、A君とB君の言葉の掛け合いから感じる友情についても考えさせたい。そして、グループでの話し合いを行い、A君とB君がお互いにもっていたと思われる気持ちについての自分の意見や他の意見を聞くことにより、自分自身の道徳的価値の存在に気づかせ、思いやりをもって人と接したい、暖かい友情を育みたいと思う気持ちを養うことにつなげていきたい。それを活用して自分の考えをまとめることで、道徳的価値の自覚を深めたい。

4 ねらい

- ・思いやりの大切さに気づかせ、思いやりの心で人と接したいという気持ちを育む。
- ・お互いを思いやることから生まれる友情を大切にしようとする気持ちを育む。

5 指導過程

過程	学 習 活 動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導 入	1 小児病棟について知る。	○「小児病棟について知っていますか。」	○ 資料に登場する病院内の小児病棟や小児ガンについての情報を伝える。 ○ 資料として扱われている場所の情報を伝えることで、資料への関心を高める。
展 開	2 資料「小さな勇士たち」の教師の朗読を聞きながら、番組を視聴する。 (1) A君について考える。 (2) A君の気持ちを考える。 (3) A君とB君が大切にしていた気持ちを考える。 3 『心のノート』にある「思いやる心を」という詩の朗読を聞く。	○ A君のことをどう思いますか。 ・偉いと思う。 ・なんて優しい子だと思う。 ・よく気がつく子だと思う。 ・思いやりのある子だと思う。 ○ A君がB君にあのように接するのはどうしてだろう。 ・病気や怪我と戦っている仲間だから。 ・友達だから。 ・何かしてあげたいと思ったから。 ・B君をそばで見ているのは自分だと思っていたから。 ◎ 一緒過ごした日々の中で、A君とB君がお互いに大切にしていたのはどんな気持ちだろう。 ・相手のことを思いやる気持ち。 ・友達として、相手に優しくしたいという気持ち。 ・一緒に居てくれてありがとうという気持ち。	○ 資料提示前、登場する二人の男の子の画像を黒板に貼り付け、二人の話す内容や表情などに注目するように伝える。 ○ 資料の提示方法として、テレビ番組の映像を用い、話が伝わりやすくなるように工夫する。 ○ A君のことを考えることで、A君の気持ちを考えるきっかけとしたい。 ○ B君と接していく中で、育まれるA君の思いやりの心や、二人の友情にも気づかせたい。 ○ A君とB君が交流を通して、お互いが大切にしていた気持ちには、相手を思いやる気持ちや相手に対する優しさ、かけがえのない仲間であるという気持ちがあったこと気づかせたい。 ○ 自分の意見を道徳ノートに書いた後、グループをつくり、意見交換をするように伝える。 ○ タイトルの「思いやる心を」の部分を読まず、そのページにある詩をパワーポイントを用いた提示方法で、それを朗読する。
終 末	4 自己を見つめる。 5 番組を視聴する。	○ 今日の学習を通して、あなたはこれからどんな気持ちやどんな心を大切にしていきたいと思いましたか。道徳ノートに書いてください。 ○ 今日の授業を振り返りながら、A君とB君の様子を見てください。	○ 生徒一人一人がもっている道徳的価値観を自覚させ、より深めていこうとする気持ちを育む。 ○ 授業の最後に、A君とB君の暖かい交流シーンを振り返ることで、余韻を残して授業を終える。

6 評価

- ・思いやりの大切さに気づかせ、思いやりの心で人と接したいという気持ちを育むことができたか。
- ・お互いを思いやることから生まれる友情を大切にしようとする気持ちを育むことができたか。

小さな勇士たち 名前 (年 組)

★

Blank writing area for the first section.

★★

Blank writing area for the second section, featuring a red heart illustration in the bottom right corner.

★★★

Blank writing area for the third section, featuring a white rabbit illustration in the bottom right corner.